

正しい知識と情報ですばやく対応

災害から自分や家族の命を守るため、日頃から危機意識を持ち、備えておくことが大切です。いざという時に家族や地域で助け合えるよう、今できることから始めましょう。

大雨や台風が来る前に

非常持出し品や備蓄品の準備

避難する時や救助を待つ間のための緊急時の必需品を準備しましょう。
(食料品、水、懐中電灯、ラジオ、通帳と印鑑、健康保険証や免許証のコピー、防寒具、下着や靴下、雨具、軍手、薬など)



土砂災害警戒情報携帯メール配信サービスに登録

登録しておく、土砂災害の危険が高まった時に県と気象台が発表する土砂災害警戒情報をメールで受け取ることができます。

長崎県 土砂災害警戒情報携帯メール 検索

登録は

bousai.nagasaki-pref@raidan.ktaiwork.jp

もしくは以下のQRコードから空メールを送信。



地域や家族で災害時の行動を確認

住んでいる地域の危険箇所や避難場所、緊急時の連絡先などの確認を行い、地域の避難訓練などにも積極的に参加しましょう。

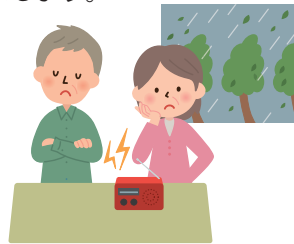


危険を感じたら

避難情報などを確認し、早めの避難を心がける

市町からの避難の呼びかけには、避難準備を促す「避難準備・高齢者等避難開始」、避難を勧める「避難勧告」、直ちに避難をしなければならない「避難指示(緊急)」の3段階があります。

これらの呼びかけに注意するのはもちろん、危険を感じた場合や避難に時間がかかる場合などは、段階に関わらず自主的に早めの避難を心掛けましょう。



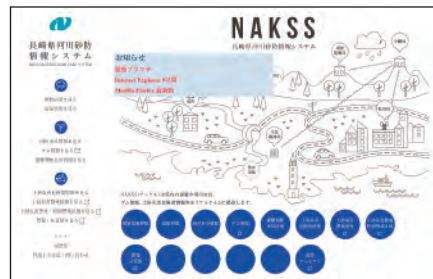
大雨や台風が近づいたら

テレビやラジオ、インターネットなどを使って、雨量や河川の水位、台風などの防災情報を集めましょう。

◎テレビのデータ放送から

- ①NHK長崎放送局にチャンネルを合わせる
- ②リモコンの「d(データ放送)」ボタンを押す
※機器により表示が異なります。
- ③「気象情報」を選ぶ

◎インターネットから



長崎県河川砂防情報システム「ナックス」(NAKSS)

- ①「長崎県ナックス」で検索
- ②「長崎県河川砂防情報システム」をクリック

砂防ダムや地すべり対策、斜面对策で土砂災害を防ぐ

県内には土砂災害危険箇所が16,231カ所あり、全国9位の多さです。大雨などによって引き起こされる土石流や地すべり、がけ崩れは、広範囲の人命や暮らしに大きな被害を及ぼします。そのため、土石流を防ぐ砂防ダム、地すべりの原因になる地下水を取り除く抑制工、がけ崩れ防止のための斜面对策など、その土地の特性や危険性に応じた対策を進めています。



災害時



対策後

佐世保市鹿子前地区で行われた斜面对策

ソフト対策で災害から身を守る



長崎県総合防災GIS

土砂災害警戒区域(イエローゾーン)とは

土砂災害が危惧される区域。市町がハザードマップを作成のうえ周知し、緊急時の警戒避難体制を整備します。

土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)とは

イエローゾーンの中でも重大な被害が予想される区域。該当区域に新築する場合は、必要に応じて建築制限などが行われます。

長崎県総合防災GIS 検索

防災情報を地図で確認

県は、土砂災害の恐れがある地域を調査し、危険の度合いに応じて警戒区域(イエローゾーン)や特別警戒区域(レッドゾーン)を指定し、「長崎県総合防災GIS」などで公開しています。

また、警戒区域が指定された市町は「ハザードマップ」という被害の範囲や

避難場所などを示した地図を作成しています。

「長崎県総合防災GIS」は県ホームページ、「ハザードマップ」はお住まいの市町のホームページや窓口で見ることができます。

自分の住む地域のどこにどんな危険があるのか確認しておきましょう。

問合せ 県の河川課 ☎095-823-3280 長崎県河川課 検索

県の砂防課 ☎095-820-4788 長崎県砂防課 検索

県政テレビ番組「こちら県庁広報2課」(民放4局)でも今回の特集を6月に放送します。ぜひご覧ください。